



札私幼

《編集》
札私幼広報委員会

《発行責任者》
一般社団法人
札幌市私立幼稚園連合会
敷 淳 一

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
札幌市生涯学習総合センター内
☎ 671-3590 FAX 671-3591

第166号

令和2年
8月21日
発行

会長就任挨拶

一般社団法人 札幌市私立幼稚園連合会 会長 敷 淳 一



今期より会長を務めることになりました。大通幼稚園の敷です。新型コロナウイルスの影響で、予定していた5月の総会と理事会が中止となり、役員選任等の議案を書面で決議していただくことになりました。加盟園の代表者の皆様には大変ご面倒をおかけしましたが、ご承認いただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

前任の前田先生が会長を務められた8年間は、私立幼稚園にとって激動の時期でした。「子ども子育て支援新制度」と「幼児教育・保育の無償化」という2つの大きな波が押し寄せ、先行きが十分に見通せない中、私たちは日々思い悩みながら、進むべき道を探して歩んできました。その結果、私立幼稚園が従来よりも恵まれた今のステージに無事にたどり着くことができたのは、もちろん各園の理事長先生、園長先生をはじめとする職員の皆様のご努力があってこそですが、札私幼という団体としては、会長の立場だった前田先生が情報をいち早くキャッチし、課題を整理して、行政との調整など様々なことにご尽力いただいた功績が大きいですと感じています。この場を借りて、敬意と感謝の意を表します。ありがとうございました。今後は、北私幼の副会長の立場で、札幌の声も吸い上げながら全道及び全国の課題に集中して取り組んでいただきたいと思います。

変革期を経て、札私幼の実態も大きく変わりつつあります。今年度の加盟園155園の内訳は、私学助成園27園、施設型給付の幼稚園63園、幼稚園型認定こども園8園、幼保連携型認定こども園57園となり、認定こども園が4割以上、私学助成の園は2割を切ることになりました。各園が抱える課題やニーズも多様化してきていますが、子どもたちの今と未来の幸せを願い、子どもたちの育ちを支えるという役割が、加盟園すべてのミッションであることに変わりはありません。質の高い幼児教育・保育を目指すことを団体運営の扇の要として、一枚岩となって様々な課題に向き合っていきたいと考えています。

会長在任中に取り組みを進めたい柱を5つ挙げます。

①新型コロナウイルス

2月末の北海道独自の緊急事態宣言以来、各園とも対応には大変苦慮されていることと思います。遊具等の消毒やマスクの着用を当たり前とする保育がこの先いつまで続くのか、いまだ見通せる状況にはありませんが、札私幼としては、速やかな情報提供と、情報交換の場の設定がまずは重要な役割だと考えています。また、これを機に、オンラインの研修や情報発信はできないか検討を進めます。新型コロナウイルスに関する札幌市の様々な対応についても、保育所や小中学校と対等に私立幼稚園を扱ってもらえるよう、働きかけていきます。

②幼児教育・保育の質

札幌の幼児教育・保育の質のさらなる向上を目指していきます。以前から研究委員会を中心となり、様々な研修会の企画運営をしてきましたので、学びの文化はしっかりと根付いています。また近年は、講演スタイルだけではなく、各園の園内研修・研究の活性化につながるようなアクティブな研修も企画されています。札私幼の研修会が、現場の先生方の意識をさらに高め、加盟園の保育実践の一層のレベルアップにつながるようしていきます。また、養成校の先生方との連携も今まで以上に深め、相互に行き来し、質の高い保育者を一貫して育てていけるような仕組みや仕掛けを考えていきます。

③安定した園運営

質の高い幼児教育・保育を提供するには、安定した園運営が必要です。そのためには、行政からの支援も欠かせません。新型コロナウイルスの影響で市の財政状況も厳しく、特に市単費の補助金の増額や新規補助金の獲得は容易ではない状況ですが、主張すべきことはしっかりと主張していきます。また、新制度の公定価格の加算については、国のメニューは国基準で採り入れるように働きかけていきます。交渉の場では、常に「札幌の子どもたちのために」という視点を忘れずにいたいですし、市の担当者にも現場を十分に理解してもらい、同じ視点に立ってほしいと考えています。

④人材確保

各園共通の最重要課題と言ってもいいでしょう。就職フェアに限らず、人材確保につながるのなら何でもするという意気込みで、中高生へのアプローチ、養成校との連携、潜在的保育者の掘り起こし、社会への発信、札私幼就職サイトの立ち上げ、行政の仕組みの改善など、あらゆる手立てを講じていきます。人材確保は、量だけではなく質の確保も重要ですので、保育者不足が保育者全般の質の低下につながるよう、総合的な対策も必要です。

⑤将来を見据えて

5年後、10年後、20年後、幼児教育・保育はどのようになっているのでしょうか。令和7年度に市立幼稚園は5園に減る予定ですので、札幌において私立幼稚園・認定こども園の果たすべき役割が一層高まることは間違いないでしょう。幼保の距離が今より縮まることによって、幼稚園の預かり保育のあり方も問われてくるでしょう。一方、幼児教育に対する保護者ニーズもあって、保育所も就学前教育の施設として位置づけられていくことも考えられます。私立幼稚園に2歳児がいることも当たり前になるでしょう。少子化がさらに進むことによって、淘汰される園も必然的に出てくるでしょうが、各園とも今より小規模での運営になり、子ども一人ひとりをより大切に丁寧な保育が行われるという見方もできます。保育者の処遇はさらに改善し、小学校の教員並みの社会的地位を得られるようになってほしいという願いももっています。こうなるだろうという予想だけではなく、「こうあってほしい」「こうあるべき」というビジョンを、加盟園の皆様と共有して、それに向けて活動を進めていきたいと思っています。

札幌に生まれた私は、オリンピックの頃に幼児期を迎え、札幌の街の「生まれ変わり」を自分自身の成長とともに見続けてきました。今や成熟した街となった札幌ですが、数年内には人口減少に転じることが予想されています。その一方で、新幹線の延伸やオリンピック開催に向けた動きもあり、新たな生まれ変わりが求められる時代に入っていると言えるでしょう。その際、私たちの世界もさらに良き方向に進み、「札幌の幼児教育はすてきだ」「幼児教育・保育を受けながら札幌がいい」と言われるような街になればいいという思いがあります。そして、札幌で育った子どもたちが幸せな気持ちで人生を送り、札幌を世界に誇れるような街にしていってほしいと思います。微力ではありますが、私立幼稚園団体の一人として、この街の生まれ変わりを支えていきたいと考えています。加盟園の先生方も、共に手を携え、人づくり、街づくりをしていきましょう。ご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

役員挨拶・就任挨拶

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 副会長

丸谷 雄 輔



この度、藪会長より5期目の札幌幼の副会長職を仰せつかることになりました。前任の前田会長と共に4期8年の間、札幌幼の副会長職を担って参りましたので、前田会長が退任されるタイミングで私も退いた方が良いのでは…と考えておりましたが、藪会長より幼児教育の質向上を支える札幌幼の組織運営に

尽力するよう任じられたため、初心に返って副会長職を全うしようと決心し、微力ながら邁進する所存です。

さて、平成27年度より施行された「子ども・子育て支援新制度」への対応や、今年に入って世界を大混乱させた「新型コロナウイルス感染症」への対策は、乳幼児期の発達を支える一端を担っている私達の園運営に大きな影響を与えています。最終的には各々の園で判断し、子ども達の「今」と「未来」の幸せを願って日々の保育に真摯に向き合っていく毎日を送ることが大切だと思いますが、その為の判断材料となる情報の提供をはじめとする道標の役を果たしていくことが、札幌幼の使命の一つと考えております。

その中でも札幌市への予算・政策要望等を総務委員長としてリードし、「総務委員会」や「理事会」でしっかりと議論した上で、関係諸機関である「子ども未来局」へ札幌幼加盟園の想いを代弁しながら、交渉や折衝に誠実に対応していくことを肝に銘じていきたいと思っております。また、上部団体である「北私幼」「全日私幼連」等とも連携を図り、加盟園が必要とする情報を整理しながら迅速に伝達していくことも総務委員会の役割として対応して参ります。

次に、加盟園の保育者が子ども達との日々の保育に専門性を発揮しながら情熱を注げるよう、「研究委員会」を担当する副会長の立場として、各園の保育の質向上に繋がるような研修会の構築や研究体制の支援を積極的に行っていきたいと考えております。また、「教育委員会」をはじめとする「幼児教育センター」との連携協力を図り、所管事業の計画を推進するよう努めていきます。

幼児教育の質向上のために必要な振興政策や保育者の育成

は各園単位では限界があります。各園単位で実現出来ないことを、加盟園の想いを汲み取りながら先頭に立って推進していくことが、札幌幼の最も大切な役割です。札幌幼の副会長は3人体制で構成されているので、役割分担をしながらしっかりと連携を取り合い、各委員長と共に藪会長を支え、理事の皆様と手を携えながら子ども達の健やかな成長を願って任期を全うしていきたいと思っておりますので、加盟園の皆様からの積極的な参画とご理解をどうぞよろしくお願い申し上げます。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 副会長

中村 みどり



この度、3期目の副会長を務めることになりました。担当の委員会は、「振興委員会」と「認定こども園委員会」です。「振興委員会」は区から選出の委員の先生10名に今年度新たにプロジェクトメンバー4名(内1名は区と兼務)を加えました。委員の先生には各区に於ける幼保小の連携推進役を担っていた

だいていますが、振興委員会の仕事内容として、①札幌市への予算要望や私学助成園の問題などの「経営」の部分、②労務や働き方改革など園のマネジメント的要素の「運営」部分、③『人材確保』の問題などの課題を持って検討、取り組んでいきたいと思っております。「幼稚園ガイド」「実態調査」

「現況調査」の発行に於いても、会員の皆さんが必要としている情報や項目を整理しながら進めていきたいと思っております。

「認定こども園委員会」では、今年度より、認定こども園に特化した事項の取り扱いと乳幼児研修会の開催が主な仕事内容となります。幼保連携の施設が増え3号認定も会員となっていることも踏まえ、新型コロナウイルス感染症の拡大予防策をとりながらの研修会・認定こども園園長会の開催・構築に力を注いでいきたいと思っております。両委員会及び執行部の活動を通し、会員の皆さまの声を道・札幌市に届け、園・教職員・保護者・子どもたちのより良い環境のために頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 副会長



この度、副会長を務めることになりました白石幼稚園の太田真理です。このような大役を引き受けさせて頂き、身の引き締まる思いですが、広報委員長・振興委員長の経験を活かしながら務めさせて頂きたいと思っております。広報委員会とPTA連合会を担当致します。

広報委員会では、広報誌発行をはじめとする広報活動はもちろん、人材確保事業も大きな役割のひとつとなっております。人材確保が厳しいなか、今年はさらに新型コロナウイルスの出現によって、採用活動や情報発信をどのように行っていけたらよいか、お悩みの事と思っております。今年度はそのような状況も踏まえ、新たに札幌幼として就職サイトの立ち上げを考えております。会員園の皆様には、このサイトを情報発信の場としてご活用頂きたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

また、9月22日には、出来る限りの感染防止策を講じなが

太田 真理

ら就職フェアを開催いたします。就職フェアは、養成校に通う学生の皆さんにとって各園の雰囲気を感じ、不安や疑問を解消するための重要な役割を担っています。幼稚園・認定こども園にとっても、学生にとってもプラスとなる場になるよう、工夫していきながら新たなフェアを作っていきたいと思っております。

PTA連合会は、昨年50周年を迎えました。今年は残念ながら新型コロナウイルスの感染防止の観点から、現状ではP連ふれあい交流会の開催を見合わせているところですが、お母様・お父様方が中心となって活動されていらっしゃる組織ですので、微力ながら私も園と保護者の皆様を繋ぐ役割を担っていきたく思っております。

様々な、問題が山積している状況ではありますが、札幌幼としての責務を果たしていきたいと思っておりますので、ご指導並びにご協力をよろしくお願い致します。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 振興委員長

古川 多三和



この度、振興委員長を仰せつかりました森の幼稚園の古川多三和と申します。

私立幼稚園・認定こども園の運営には、教育と経営の両輪が必要ですが、振興委員会では教育の面では幼保小連携推進協議会に関する、経営の面では補助金制度の研究や実態調査、人材確保・定着事業等に関わります。また、私学助成幼稚園、新制度幼稚園、学校法人立の認定こども園、社会福祉法人立の認定こども園等、様々な施設類型や設置者が集まる点が振興委員会の特徴だと考えています。そうした委員会の特徴を活かしながら、私立幼稚園・認定こども園の振興に関する様々な課題に対応して参りたいと考えております。

幅広い課題に対応していくためには、たくさんの先生方の力をお借りしなければなりません。そうした理由から、今期より区選出委員の他にプロジェクト委員を選出し、委員会運営を行って参ります。

区選出委員の先生には、以前より振興委員が担ってきた各区の幼保小連携推進協議会の担当、発行物(幼稚園ガイド、教職員名簿、実態調査)の検討、就職フェアの運営協力、マイナビ主催高校生向けイベント出展の運営協力を主に担当して頂きます。幼保小連携推進協議会については、平成30年4月1日に施行された「幼稚園教育要領」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」において、「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を通して、幼稚園や認定こども園の教育・保育と小学校教育をつなげていくことの必要性が明確になりました。そうした点を考慮しながら、区の研修会がより良いものとなるよう取り組んで参ります。また現代の社会情勢を考慮しながら、札私幼発行物の検討も進めて参ります。

プロジェクト委員の先生方とは、子ども・子育て支援新制度、幼児教育・保育の無償化、札私幼役員の諸先輩方の血のにじむような努力と熱意により積み上げられてきた札幌市単費補助事業等をより良い制度にしていけるよう現場の視点から課題を検討し、札幌市への予算要望に繋げていきたいと考えております。また、私学助成園の課題についても、私学助成園の先生方の要望やご意見を集約し、北私幼等にしっかりと訴えて参ります。さらには、喫緊の課題となっております人材確保・定着にむけての事業も検討して参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 研究委員長

大谷 壮史



今年度、研究委員長を仰せつかることになりました、学校法人大藤学園の大谷壮史です。研究委員プロジェクトチームとして4期8年、また前身の研究推進部会のメンバーとして3年、計11年の間研究委員会に携わってきました。

かねてから私が自法人内においても、また研究委員としても馳せていた思いは、「保育者の社会的地位が向上すること」です。そのためには、養成校を卒業し、保育者となってからも学びを続け、それぞれの立場における専門性を高めることが重要です。保育には正解が1つではなく、無数の引き出しからアプローチを選択し、場面によって最適な答えを導いていくものです。その引き出しやアプローチの方法は、経験を積み重ねることや新たな知識を習得する他ありません。また、園は、チームとして向上し続けるために学び合えるシステムを作ることが必要です。社会情勢に合わせながら、現代の子どもたちに必要な幼児教育を求め続けていくこと、その姿勢が、前述の社会的地位の向上に繋がると感じます。

新型コロナウイルスにより、感染に奮えながらも懸命に職務を全うする保育者にフォーカスが当たりました。我々は子どもの命を預かり、家庭を支えている大切な職業だということから少なからず世に知れ渡ったことではないでしょうか。それでもまだまだ断片的なものです。保育の一場面を構築するために、どれだけ頭や体を使って準備に費やしていることか。人間形成に関わることがどれだけ重責であることか。だからこそ、我々はさらに専門性を高めてこの職業の価値を世に発信していく必要があります。

残念ながら、歴史ある教育研究大会が中止となります。『初任者段階における研修』においても保育参観やスタートアップ研修が中止となり、イレギュラーな年であるにもかかわらず、研修でカバーできないことは無念でなりません。区の研修や委員会も会場園に多数の参加者が集まることから運営が困難です。しかし、我々は学びを止めるわけにはいきません。今後は、定員設定やルールに最大の考慮をしながら研修運営をします。また、このような時期だからこそ、普段取り組むことができない研修にもチャレンジします。各園におかれまして是非研鑽を進めるチャンスとしていただければと存じます。私にとってもイレギュラーな年となり四苦八苦しておりますが、精いっぱい頑張りますので、何卒ご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 広報委員長

米 永 桃子



この度、2期目の広報委員長を仰せつかりました南区澄川幼稚園の米永桃子です。

一人でも多く子ども達が幼児期に質の高い教育・保育を受けられることを目的とした保育料の無償化がスタートし、今まで以上に子ども達と関わりを持つ私達の質の向上を求められる中、各園で一番の悩みは人材確保の点ではないでしょうか。必要な人員配置が確保出来たとしても果たして本当に質の高い保育につながっているのか、疑問を感じる場合も多かれ少なかれあると思います。そこへ今年度は【新型コロナウイルス】が猛威を振るい、広報委員会の主となる活動の一つでもある学生向けの【札私幼就職フェア】の開催について議論を重ねることからスタートしました。執行部で話し合い、養成校側としてはどのように捉えているか意見交換を行いました。オンライン授業が中心の日々で学生自身も就職に関して不安を抱えていることや例年【就職フェア】に参加することで就職に対する意識を持つこと。また園側と直接話をする事で働く上でお互いにミスマッチの軽減

につながるなど、就職フェアの役割の大きさを改めて実感し今年度も開催を決めました。出来る限りの感染予防対策を行い、ブース参加園、養成校どちらにもご協力をいただき例年とは違う開催方法ではありますが無事に終わられるよう準備を進めております。また、フェア参加が難しい学生のためにも札私幼ホームページ上に【札幌の私立幼稚園・こども園】の就職に関して情報提供のサイトを設置し、各園の求人情報や見学についてなどを随時見れるようにもしました。今後は潜在幼稚園教諭・既卒者にもこのサイトの活用を周知してゆきたいと考えております。人材確保に少しでもお役立て出来るよう今期も委員と話し合いを重ねながら、会員園の皆様からも情報やご意見をいただきながら取り組んでまいりたいと思います。また、札私幼広報誌に関しましても、新たに会員になられた園を含め、札私幼の様々な情報提供の場として内容を検討しつつ一人でも多くの皆様に目を通していただけるよう活動を進めてゆきたいと考えております。微力ではありますが、皆様からのご指導・ご協力の下、今期もどうぞ宜しくお願い致します。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 認定こども園委員長

芝木 孝 満



この度、新たに認定こども園委員長を仰せつかりました認定こども園なかのしま幼稚園園長の芝木孝満と申します。

前年度まで研究委員長を2期務めさせていただきました。任期を全うできたのも各区の研究委員の皆様、研究プロジェクトチームの皆様、そして各園の理事長先生、園長先生のご理解・ご協力があったからこそだと思っております。心より感謝申し上げます。

研究委員会以外の委員に関わらせていただくのは初めてですが、担当副会長の中村みどり先生、そして委員の先生方と力を合わせて精一杯務めさせていただきます。今年度の認定こども園委員会は、幼保連携型認定こども園・幼稚園型認定こども園・施設型給付の幼稚園、福祉法人の認定こども園のメンバーで構成されており、様々な角度から認定こども園の運営・保育について考えていければと思っております。

活動内容としましては、主に乳幼児研修の開催・園長会での意見交換・情報提供、子ども未来局の方との意見交換を軸に行っていきます。(今年度から経営面に関しましては振興委員会が担うこととなりました)

- ・乳幼児研修では、年に2回程度0.1.2歳児の育ちや安全など乳幼児への理解を深めていけるような研修を開催予定です。

- ・園長会では、昨年に引き続き認定こども園の制度や運営、保育への悩みや疑問等の情報・意見交換を行い、さらに札幌市子ども未来局の方にも来ていただいて、子ども達・先生達にとってより良い認定こども園の運営が出来るよう情報をいただいたり、意見交換できる場を作っていきます。

現在札幌私幼加盟園155園のうち、63園が施設型給付の幼稚園、65園が認定こども園となっておりますが、認定こども園は今後更に数が増えていくと予想されます。そのような中で、少しでも安心して園を移行したり、運営・保育を行っていくよう委員会を開催していきたいと思っております。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、例年通りに出来ないことも多々あるかと思いますが、安全に開催出来る方法を考えながら行ってまいります。皆様にもご協力いただくこともあるかもしれませんがどうぞ宜しくお願い致します。

(一社)札幌市私立幼稚園連合会 政令市等担当理事

前 鼻 英 蔵



この度就任しました西野桜幼稚園の前鼻です。主に政令指定都市私立幼稚園団体協議会の運営委員として20ある各政令指定都市との連絡調整をすることになっております。この協議会は7月に行政担当者を招いての全体協議会と2月の協議会を開催し、その他に若手育成として次世代交流大会を8月に開催して

おります。開催都市はローテーションが決まっており、先般の理事会でもお知らせしたとおり、来年7月には札幌で全体協議会が開催されることになっております。各都市10名前後来札しますし、開催都市としての参加もあり、総勢250名を超える大会になります。そのため、既に来年7月8日9日に京王プラザホテル札幌の会場予約を完了しております。会員園の皆様には当日までの準備や当日の運営についてご協力をお願いしますこと、この場をお借りしてお願い申し上げます。まだ当日の内容は決まっていますが、当日の講演や各政令都市報告などのご参加もできますので、こちらの方も合わせてお願い申し上げます。

政令指定都市は20市ありますが、相模原、堺のように少々駅から離れていますが、札幌を除いた残りの政令都市には全て新幹線の駅があります。札幌までの完成は2030年ですが、その前の2027年以降になるとと思いますが、東京一名古屋間にリニアが走ります。政令指定都市最後の新幹線駅となる札幌駅までの開通はリニアに遅れること数年後となる訳です。人口は190万都市として横浜、大阪、名古屋に次いで4番目に多い都市ですが、鉄道だけみるとインフラは最下位となります。各都市で会議があるときは、時間的に飛行機の方が早いからという事もありますが、ほとんどの都市は新幹線で直接または乗り継いで集まれるのに、札幌はいつでも飛行機を使わないと行けません。そこに距離的疎外感を感じるのは私だけでしょうか。

少しこだわりとして、会議での輪番発言はいつも北から回る事が多かったのですが、春は南から、秋は北からとしました。桜前線と紅葉前線を考慮しての事です。そうでない時侯の挨拶に大きなズレを感じるようになるからです。小さいことですが、地域性があるからこそ、それぞれの違いを認め合い、様々な問題に一体感を持って取り組めるのがこの場だと思えますし、また全国の幼稚園児の6割が政令指定都市に住んでいる訳ですので、政策提言は大変重要な意味を持ちます。全国と調整しつつ政令指定都市だからこそ出来る事を各都市と連携しながら協議して参りたいと思っております。

(一社)札幌市私立幼稚園PTA連合会 会長

加 賀 谷 由 峰



今期より札幌市私立幼稚園PTA連合会の会長の職をお預かりさせていただく事になりました、加賀谷由峰(かがやゆたか)と申します。任期中は大変お世話になると思いますが何卒よろしくお願ひいたします。

まずは本年、新型コロナウイルス感染症による異常事態も長期化し、甚大な被害や命を落とされた方にご冥福をお祈りいたしますと共に、医療従事者の方々には日々ご尽力していただいている事、感謝申し上げます。

本年度は残念ながら、新型コロナウイルス感染症という前代未聞の脅威に世界中が呑み込まれ札幌市私立幼稚園PTA連合会といたしましても、リスクの関係上本年度の事業を中

止せざるを得ない状況になってしまいました。子供たちにとっても親御様にとっても2020年という年は二度と無く、大変貴重な時間ではありますが、活動できない事が非常に残念でなりません。

しかしながら、この新型コロナウイルスの影響で自宅にいる時間も増え、子供たちとも向き合う時間が増えたという事も事実ではないでしょうか。今出来る事、今しかできない事を考える時間ができ共に成長する事も可能になったのではないかと思います。新北海道スタイル、新札幌スタイルを参考に今後コロナ禍でもできる、学べる環境作りの為にこの時間を無駄にしないよう、来年に向けて構想を重ねていきたいと思っております。今後とも札幌市私立幼稚園PTA連合会へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

秋元 克広市長への表敬訪問・札幌市子ども未来局・札幌市教育委員会と意見交換会報告

緊急事態宣言も解除され、少しずつ感染予防に努めながらも通常の生活に戻り始めた6月16日(火)秋元克広札幌市長の元へ私私幼執行部で表敬訪問致しました。

敷会長・丸谷副会長・中村副会長・太田副会長・古川振興委員長・大谷研究委員長・米永広報委員長・芝木認定こども園委員長・前鼻政令市等担当理事・坂本事務局長の10名で訪れました。例年は市長室で挨拶を取り交わしますが、コロナ感染のこともあり消毒・マスク着用など感染対策を徹底した上で広い距離を保つ場所でお会いしました。今まで誰も経験のないウイルスと向き合うことに札幌市としての苦悩を伺いつつも、園を運営するこちら側の状況や対策に関しての数々の苦悩も知っていただくべく意見を述べさせていただきました。

市長を訪問したのち、札幌市子ども未来局・札幌市教育委員会へも足を運びご挨拶をさせていただきました。未来局では、人材確保の点で例年開催している保育園ミーティングを中止することで新規採用者の確保にどのような対策を考えているのか、などを含め意見交換をしました。

尚、人材確保の周知事業対策についてはこの時点では検討中とのことでした。

教育委員会においては、今回のような緊急事態宣言が発令された際に様々なことを視野に入れ決めることの大変さも十分踏まえた上で、市教委としての通知を出来るだけ早くしていただくことがこちらとしても判断材料の一つになることも意見として述べさせていただきました。



令和2年度札幌市子ども未来局の私立幼稚園・認定こども園関連業務の担当について

子ども未来局長 山根直樹 子育て支援部支援制度担当部長 加茂貴裕
 施設運営課長 佐藤晴美 保育推進担当課長 草野晶裕

(敬称略)

所管業務	所管部局	電話番号
1 ・認定こども園、新制度に移行した幼稚園の定期運営指導(監査)	施設運営課 運営係(田村係長、古関)	211-2986
2 ・教材教具等整備補助金 ・特別支援教育事業費補助金 ・研修費等補助(団体助成)	施設運営課 運営調整担当係(中村係長、作田)	211-2986
3 ・私立幼稚園施設等利用給付費の交付(私学助成幼稚園)	施設運営課 保育料係(中山係長、西岡)	211-2987
4 ・子ども子育て支援事業計画	保育推進担当課 認可担当係(亀苔係長)	211-2346
5 ・一時預かり事業	保育推進担当課 保育推進係(長能係長、岡田)	211-2346
6 ・新制度に移行する幼稚園、認定こども園の確認等	保育推進担当課 認可担当係(亀苔係長)	211-2346
7 ・認定こども園の施設整備補助金	保育推進担当課 施設整備担当係(小野寺係長)	211-2346
8 ・施設型給付費の交付	保育推進担当課 給付係(藤間係長、竹内)	211-3027
9 ・副食費の減免(新制度幼稚園、認定こども園)	施設運営課 運営係(田村係長、鐵川)	211-2986
10 ・副食費の補足給付(私学助成幼稚園)	施設運営課 運営調整担当係(中村係長、作田)	211-2986
11 ・施設等利用給付認定、償還払い	札幌市子ども子育て支援事務センター	050-3822-3777

札幌市幼児教育センター 職員紹介

研修・教育相談等でお世話になっております幼児教育センターの先生方をご紹介します。

幼児教育センター担当課長	野切 卓	幼児教育相談担当係	指導主事	伊藤 文雄
幼児教育企画・研修担当係	指導主事 松井 泰子	幼児教育相談担当係	指導主事	金澤 恵美
幼児教育企画・研修担当係	指導主事 本間 真純	幼児教育相談担当係	指導主事	新谷 秀一
幼児教育企画・研修担当係	指導主事 吉本 学			電話 671-3454

令和2年度 札私幼人材確保事業について

①養成校の学生の現状

現在、多くの養成校がオンラインで授業を行っており、今後（後期）対面での授業を再開できるかは、不明の状況です。実習についても、1学期の実施分については2学期以降に変更し、11月に実習を行う養成校もあります。札幌の感染者数も多かった事から、緊急事態宣言以降、地方出身者の学生は、実家で過ごしている子も多いそうです。

このような状況の中で、就職学年の学生は、多くの不安を抱えています。幼稚園や認定こども園のホームページで情報を得ることはできるものの、学生が欲しい情報すべてを網羅している訳ではありません。求人があるのか、園見学はいつから可能なのか…、オンライン授業のため学校に足を運ぶ機会もなく、情報の入手や相談の場所も少ない状況にあります。

②幼稚園・認定こども園の現状

多くの園が6月から本格的に保育を再開し、新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、子どもの育ちを担保すべく保育を工夫して行っています。感染防止のため部外者の方の園内の出入りはもちろん、参観日の中止等、保護者の方の出入りも制限している園が多い中、学生に向けての園情報の提供に苦慮している園も多いと思います。また、実習を自園のPRの場として捉えている園も実習の期間が遅くなる事は人材確保に少なからず影響していく事でもあります。

このような双方の現状を踏まえると、札私幼としてはできる限りの感染防止策を講じつつも、就職フェアを開催する必要があり、それと同時に就職フェアの会場に様々な理由（実習期間中である、札幌にいない、感染への不安）で足を運べない学生の皆さんのための新たな情報提供の場として、求人サイトを札私幼HP上に開設したいと思います。



札幌の私立幼稚園・こども園就職フェア ミライノトビラ

日時：令和2年9月22日(火・祝) 9時～12時、13時～16時（予定）
場所：ホテル札幌ガーデンパレス 2F（鳳凰）・4F（平安・真珠）

※就職フェア参加園説明会

日時：令和2年9月1日(火) 16時～17時 場所：かでの2・7 820研修室

☆感染防止の観点から、例年と違う要項での開催となります。ブース出展方法については開催案内をご確認ください。

札私幼求人サイト

札私幼サイトスペース上に、会員園の求人情報等を集約し、学生や既卒者が情報収集できる求人サイトを作成しました。（あくまで就職フェアのオンライン版という位置づけで、求人情報の紹介のみ）サイトに情報を掲載したい場合は、既に各園にメール送信・郵送しております「札私幼就職フェア 求人情報質問票」に必要事項を記入し、事務局までメール・FAXでお送りください。

このサイトは、就職フェア開催後も公開し、学生の情報収集の場として活用して頂きたいと考えており、回答期限以降も質問票の受付は可能ですので、ご活用ください。質問票を提出して頂いた後、事務局で随時情報を更新していきます。



札幌市幼稚園初任段階における研修【理論・実践研修1】 ～ 保育者になった自分を見つめよう！ ～

毎年、札幌市幼児教育センターの指導主事と札幌市私立幼稚園連合会研究委員が主催している新規採用者研修があります。1年目の春の開講式に始まり、市立幼稚園の公開保育見学、夏休みと冬休みに実技を含めた研修会。そして、2年目の夏と冬にも研修があり、これらすべてを受講することで幼稚園教諭・保育教諭としての学びを深めていきます。今年度は【新型コロナウイルス感染症】により研修会の開催が例年と違った形式ではありますが、感染対策を十分した上で分散で行われました。

【開催方法】

- ・市内10区を2つに分けて行いました。
- ・7月21日(火) → 中央/東/豊平/南/手稲に園がある先生対象。
- ・7月22日(水) → 北/白石/厚別/清田/西に園がある先生対象。
- ・開催時間 → 15時～16時45分。
- ・会場での感染対策 → マスク着用/入口での消毒/座席指定/事前課題(ワークシート)

【研修内容】

- ・開講式挨拶 → 札幌市教育委員会幼児教育センター担当課長・野切 卓 氏
- ・今年度の研修内容についての説明 → 札幌市幼児教育センター・本間 真純先生
- ・全体講義 → 「1学期の振り返り・教員としての心構え」
講師・(一社)札幌市私立幼稚園連合会 会長 藪 淳一 先生
※新型コロナウイルスで考えること ※何のために働く? ※保育者の専門性
※仕事についての考え方 ※プロフェッショナル ※仕事の価値(経験を意味あるものに…)
これらを参加した先生に問いかけていくような研修会でした。
最後に藪先生から【3つ】言葉をいただきました。
※考える保育者 ※成長し続ける保育者
※仕事に楽しみと喜びを見い出せる保育者(探し求める・研究する心)
- ・グループ演習 → 10～11人のグループに分かれ、幼児教育センター指導主事の先生と札幌市私立幼稚園研究委員の先生1名がグループに入り協議をしました。
※1学期の保育から(自己紹介も含め)
※社会人としての振り返り
喜びを感じたこと・頑張りたいこと・困っていること・気づきなど自身の不安や困りごとなどを参加者で共有し、少しでも不安や困りを適切な助言を通して和らげ、緩和へとつなげる。

【今後について】

- ・今回の研修の続きは、冬休み期間中に開催する予定ですが、詳細については新型コロナの感染状況を踏まえた上で、ご案内そして開催へとつなげる予定となっています。



＜広報委員紹介＞

今期の広報委員です。どうぞ宜しくお願い致します！

- ★担当副会長 → 太田 真理 (しろいし幼稚園)
- ★委員長 → 米永 桃子 (澄川幼稚園)
- ★副委員長 → 石原 範明 (真駒内幼稚園)
- ★委員 → 山内 英玲子 (西野桜幼稚園)
- ★委員 → 池口 裕子 (まこまない明星幼稚園)
- ★委員 → 大徳 佳子 (認定こども園ほしおきガーデン星の子幼稚園)
- ★委員 → 浜田 晴香 (認定こども園北野しらかば幼稚園・保育園)



連 合 会 日 誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き
(予定を含む)

- | | |
|---|---|
| 4月9日(木) 監事監査 | 7月29日(水) 総務委員会、理事会 |
| 4月22日(水) 総務委員会 | 8月20日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会次世代研修会大阪大会【中止】 |
| 4月28日(火) P連正副会長会議 | 8月25日(火) 研究委員会、広報委員会 |
| 5月15日(金) 総務委員会 | 9月1日(火) 就職フェア説明会(かでの2・7 820 研修室) |
| 5月15日(金) 理事会、設置者・園長研修会、定時総会【中止～総会同意書提出】 | 9月7日(月) 初任者段階における研修〔2年次〕(理論・実践研修3-1) |
| 5月19日(火) P連定期総会【中止～総会議案書送付】 | 9月8日(火) 初任者段階における研修〔2年次〕(理論・実践研修3-1) |
| 6月12日(金) 総務委員会、理事会 | 9月22日(火・祝) 就職フェア(札幌ガーデンパレス) |
| 6月22日(月) 研究委員会 | 9月24日(木) 特別支援教育研修①(かでのホール) |
| 6月26日(金) 研究委員会プロジェクト会議 | 9月25日(金) 教育研究大会公開保育(市内22園)【中止】 |
| 7月3日(金) 広報委員会 | ～26日(土) 教育研究大会全体会(札幌市民ホール)【中止】 |
| 7月6日(月) 振興委員会 | 9月29日(火) 研究委員研修(札幌ガーデンパレス) |
| 7月7日(火) P連ふれあい交流会【延期】 | 10月2日(金) 乳幼児研修(かでのホール) |
| 7月13日(月) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会広島大会【中止】 | 10月19日(月) 特別支援教育研修②(かでのホール) |
| 7月14日(火) 認定こども園委員会 | 11月30日(月) 札幌幼児教育セミナー(教育文化会館) |
| 7月20日(月) 広報委員会 | |
| 7月21日(火) 初任者段階における研修(理論・実践研修1) | |
| 7月22日(水) 初任者段階における研修(理論・実践研修1) | |



新年度が始まり、さあこれからという時に新型コロナウイルス感染症の流行。まさかの事態に、多くの園が入園間もない園児に会えない事態が続きました。新卒の先生にとっては、幼児と関わることを夢見て就いたこの仕事であったことと思いますが、しばらくの間保育が出来ず、寂しいスタートとなりました。

そんなコロナ禍にも子どもたちの成長に必要な「経験」は待ったなし。園再開後の今後のカリキュラムに頭を悩ませ、空白だった時間を取り戻すべく、各先生

方はこの2ヶ月、苦勞をされてきたことと思います。見えない物との戦いは今も続いています。この先もしばらく続くでしょう。子どもたちとの日々をエネルギーに変え、これまでの分も集団生活を通し、たくさんの経験が出来る様努めていきたいものですね。

さて、こんな状況ではありますが、新たに幼児教育に携わりたいと、夢と希望を持った学生たちが集まる就職フェアが、開催決定いたしました。広報委員会では、どの様に未来の先生たちのお手伝い出来るか、又園の立場からいかに人材確保に結び付けるかの一端を担ってまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

(広報委員・山内 英玲子)